

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和 5年 11月 25日

事業所名 育 海老江教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	・放デイと施設を分けたことで安全性が向上している。 ・部屋の用途別の分類、スペースの広さ共に適切であると思う。 ・利用人数が多いときは、分けて集団活動をしている。	
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	・法令が必要とされている職員数を配置しております。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	88%	13%	・フォローが必要な児童には対面でスタッフ・遊びを個別トレーニングの空間は基本的に分けている。活動内容等を絵カードで表示したり、情報伝達がスムーズにできるよう工夫している。 ・段差などが少なく、設置空間が視覚的に分かりやすく区切られるよう配慮しています。 ・子どもの手に届く場所に危ないものは置いていない。	子どもたちがより過ごしやすく、わかりやすい環境工夫を行っていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	88%	13%	・毎日の掃除、定期的な除菌や消毒を行い、清潔な環境を保っている。 ・一人の空間も作れるように折りたたみマットなどを使用している。 ・活動の妨げになるものはできる限り除き、子供が集中しやすい空間になるよう配慮している。 ・個別の部屋では角などに当たりケガのないように目盛りしている。	・整理整頓に心がけ、できるだけ広くスペースを確保できるようにする。 ・ケガが起こらないように常に環境整備に心がけていく。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	88%	13%	・支援計画を共有して、日々かわりに配慮しています。 ・職員間で話し合いを行い、改善できるように努めています。 ・支援計画に沿って支援し、振り返りを行いながら改善に努めています。	支援計画に沿って支援し、振り返りを行いながら改善に努めていく。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	・昨年度より実施。保護者の方の意向等を把握し、業務改善につなげています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	・昨年度より実施。集計結果や検討した内容をホームページにて公表しています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	50%	25%	・第三者機関に定めて外部評価は行っておりません。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	・リタリコでの研修や施設内や外部研修、また職員が希望する研修も参加しています。	今後も外部研修へ参加できる機会を確保し、知識技術の向上に努めていく。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> 個別面談や送迎時の保護者様とお話からニーズを把握するとともに、お子さまの特性や発達状況を検討考慮し、アセスメントを適切に行い計画に反映しております。 ご家族さま同伴の時には保護者の方にインタビューを行いニーズを把握しています。 	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	38%	38%	<ul style="list-style-type: none"> 事業所で作成したアセスメントシートを活用しております。また、検査結果等を保護者様から共有頂き支援の参考とさせて頂いています。 	標準化されたアセスメントツールを使用するか検討していく。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	88%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」に則した各項目を支援内容に設定しています。 ・ニーズに合わせた支援をするために一人ひとりに寄り添った支援計画を作成し、具体的な内容を設定しています。 	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・支援計画が作成されたときはミーティングで話し合い共有しています。 ・支援計画を共有認識とし、それに沿った支援を行っています。 ・計画更新の際には都度全スタッフで共有し日々支援を行っています。 ・計画の説明とともに支援の目的と手法を教えて下さりわかりやすい。 	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・活動プログラムや支援の仕方、活動の進め方等共通の目標を持って取り組むことを目指しています。 ・活動プログラム案を出し合いより良いものにしていきます。 ・活動プログラムについて話し合い目的などを明確にして立案しています。 	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・季節や行事、子どもの関心事等を取り入れ毎月毎に内容を見直しています。 ・作成の際に、重なることがないように話し合っています。 ・粗大運動、微細運動、ビジョントレーニング、SSTなど楽しみながら活動ができるように工夫しています。 ・多様なプログラムが行えるように考慮しています。 	今後も、さまざまな活動が複数合わせて行えるようにプログラムを工夫して設定していく。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している	88%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様の意向を踏まえ集団活動を基盤とした上での個々の発達に合わせた計画を作成しております。 ・個別活動、集団活動どちらも利用者の状況や保護者の希望を考慮しています。 ・子どもの特性や保護者の要望を加味して集団・個別プログラムを配置しています。 	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝朝礼を行いその日の日程を確認しています。 ・朝のミーティング時にリーダーや児発管STから当日の支援について周知があり全員で共有している。 ・アセスメントシートも共有のため、読んでいる。 ・週毎にリーダーを設置し、リーダーを中心にして役割を決めて日々の療育を行っている。 	支援開始前には、タイムテーブルを用いり役割分担を明確にし、個々に合った支援統一できるよう共有していく。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・終了後に限らず、その日の療育で気になった点や共有すべきと感じた事項は都度責任者やスタッフに報告を上げている。 ・その日起こったことや気になったことは都度共有している。 	支援終了後は送迎や清掃などで全体での振り返りは難しい。できる限り児童の様子や職員の動き等について振り返りを行うことや申し送り等、共有できるよう努めていく。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・細かく記録を取り、適切な支援につなげている。 ・記録の仕方指し導があります。 	今後も、個々の計画に沿った視点で記録をとり支援の検討、改善につなげていく。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の記録等や支援経過を評価し、概ね6ヶ月1度見直しを行っています。 	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	75%	0%	・児童発達支援管理責任者が参画しています。	
22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	63%	0%	・必要に応じて関係機関と連携を図り、支援に活かしています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0%	0%		現在、該当する児童は利用されていませんが、今後受け入れた場合は関係機関と連携し情報共有、相互理解に努めていく。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0%	0%		現在、該当する児童は利用されていませんが、今後受け入れた場合は連絡体制を整え対応していく。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%	・就園、就学に向けた会議等で、情報共有と相互理解を深めています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	88%	0%		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	38%	0%	・当施設中の専門職より助言を受けております。 ・地域のイベント等に参加したり、外出活動で公共の施設を利用しています。	専門機関の研修の機会があれば積極的に参加していく。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	63%	0%	・季節の良い日は、未就園児のお子さまは、お散歩や公園などに外出し、交流する機会があります。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	75%	0%	・子ども部会へ参加しています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	・送迎の際や連絡帳などで保護者の方と情報を共有し、より良い支援につなげています。 ・送迎時や連絡帳で情報共有を行い、対話の機会を多く用意しています。 ・連絡帳での情報共有に加えて何か合った際は電話などでお子さまの様子を細かくお伝えするようにしています。	今後も、細やかな情報共有に努めていく。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	50%	25%	・当施設ではペアレント・トレーニングとして実施していませんが、必要に応じて子どものかかわり方や行動の捉え方についてお伝えし、また、家庭での対応につなげられるよう努めております。	
保護者への説明責任	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	88%	0%	・契約時に重要事項説明書を用いて説明を行っています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%	・支援計画は丁寧な説明を心がけ、同意を得ています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	・定期的な面談以外にも相談を受けた際には、個別にて必要な対応をさせていただいております。	今後も保護者の方の悩みに寄り添う支援を行う。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
等	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	50%		保護者会について、それぞれの家庭事情がありますので開催しておりませんが、保護者同士が交流できる機会を検討していく。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
保護者への説明責任等	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	契約の際に苦情窓口の明記、説明をしております。相談や申し入れがあった場合には、できる限り迅速に対応・解決に努めております。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	・毎月行事予定を配布しています。 ・リタリコ情報発信にてブログで活動概要や行事予定を発信しております。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%	・個人情報書類等は鍵付き書庫に保管しています。また、契約時に保護者様へ取り扱う範囲を示し同意を得ています。職員に対しては書面による誓約書を取り適切な個人情報の取り扱いを徹底しております。	個人情報の取り扱いに対して全職員が高い意識を持ち、取り扱いには十分に注意を払う。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	・個々に応じて、ひらがな表示、文字拡大、写真や絵カードを活用し視覚的にわかりやすく情報提供に努めております。	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達がスムーズに行えるよう、個別に適切な方法をとり対応する。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	50%	・保護者の方のニーズを踏まえ事業所内の行事に地域住民を招待しておりません。	個人情報の漏洩には十分気をつけながら、開かれた事業運営を検討していく。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%	0%	・各種マニュアルは玄関においてあり常時閲覧できます。また、契約の際に緊急時対応、非常災害時についてプリントをお渡ししております。 ・保護者にも知らせ、職員はいつでも確認できる所にマニュアルがあります。 ・マニュアルは策定、周知はしているが発生を想定した訓練ができていないため今後行える機会を作りたい。	利用児の急変時や事故発生時に、迅速に対応できるよう再チェックし、職員間でシミュレーション訓練を実施していく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	・絵カードを用いり分かりやすく身を守る行動を伝えた上で避難訓練を実施しております。 ・避難訓練を適宜実施しています。 ・定期的に避難訓練を行い避難場所を確認しています。 ・防災紙芝居や避難経路マップを作成しています。	個別のみのご利用の場合は訓練が難しいですが、保護者様のご理解の上実施できるように検討していく。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%	0%	・契約の際に保護者の方に確認し、緊急時対応について全職員に周知しております。 ・服薬に関する資料や職員間で共有し理解を深めております。 ・保護者から状況や詳細、対応を共有してもらい十分配慮しています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	25%	・契約の際に保護者の方に確認しています。	必要に応じて医師の指示書を用いて対応する。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	・ヒヤリハットは報告書を作成し、全職員が把握できるようにしています。 ・読んだらサインするようになっていく。 ・いつでも職員が確認できる所に保管しています。	日頃からヒヤリハットの事例について職員間で話し合い、再防止に努める。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	・施設内で虐待防止について研修を行った。 ・虐待防止の研修に参加し、職員間でそれを共有しています。 ・研修を受けた職員は事業所で他の職員に周知する等しています。	法人の虐待防止委員会を設置し、虐待防止チェックリストを実施するとともに、職員全員に虐待防止研修を実施していく。また、子どもの行動への理解や対応について、職員全体で共有することで虐待防止につなげていく。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	50%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・現在そのような利用者はいませんが、その場合の体制について共有されています。 ・身体拘束の研修を行った。現在身体拘束の必要な利用者はいません。 	虐待防止委員会を中心とし、身体拘束についても話し合いの機会を設けている。現在は該当する児童は利用していませんが、今後受け入れた場合は、保護者の方に説明を行い了解を得た上で、状況や対応方法を計画に記載していく。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。